業務棚卸表（事後評価表）

A表

| 年度 | 平成17年度 |
|---|---|

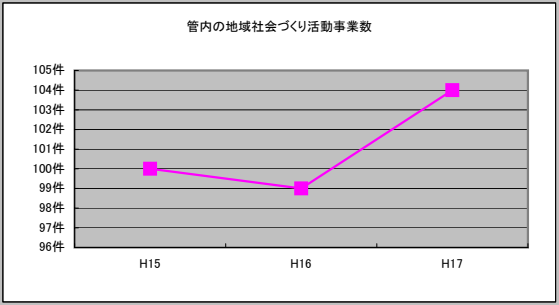
基本目的 ３　人権が尊重され、市民が主体となって取り組む協働社会になる
基本目的 ８　市民が自己を高め、生きがいをもって暮らせる
基本目的 ９　行政機能が高くなる
行動目標３－２　市民主体でまちづくりが行われる
行動目標８－２　市民が生涯を通じて学習、スポーツ活動に取り組める　（所属名 三重地区市民センター）
行動目標９－２　公正で効率的な行政運営を行う

| 任務目的 | 地域における市行政の窓口として、市民の利便性を高めるとともに、市民による地域活動を促進する。 | 達成度 | ☆☆ |
|---|---|---|---|

## 任務目的の成果・活動指標の推移

### 管内の地域社会づくり活動事業数

| | |
|---|---|
| H14実績 | － |
| H15実績 | 100件 |
| H16実績 | 99件 |
| H17実績 | 104件 |
| H17目標 | 103件 |
| H18見込 | 105件 |




### 窓口対応の満足度

| | |
|---|---|
| H14実績 | － |
| H15実績 | 98.0% |
| H16実績 | 98.0% |
| H17実績 | 98.0% |
| H17目標 | 100.0% |
| H18見込 | 100.0% |

### 講座開催数

| | |
|---|---|
| H14実績 | － |
| H15実績 | 29回 |
| H16実績 | 19回 |
| H17実績 | 24回 |
| H17目標 | 20回 |
| H18見込 | 25回 |

### 指標の説明

地区市民センターの主要な業務である、地域社会づくり、窓口・相談、公民館における生涯学習講座の開催について、わかりやすい、代表的な指標として、管内の地域社会づくり活動事業数、窓口対応の満足度、講座開催数を掲げた。

## ○ 任務目的に対する評価

### これまでの取組と成果、手段の妥当性

**平成17年度実績**

○市民主体のまちづくりの一環として、平成15年度から市の財政支援のもとに設置された三重地区団体事務局において、地区まちづくり推進委員会や連合自治会、社会福祉協議会の事務を行うようになり、以来地区市民センターとして行政に関係する事務処理を中心に支援を行い、ほぼ自立的に行えるようになった。
○平成17年度における新たな取り組みとしては、都市計画マスタープランに基づく三重地区の地域地区別構想を住民主体で作成してもらうことを提起し、まちづくり構想策定委員会を設置して貰い、都市計画課まちづくりグループとともに支援を行い、その活動を推進した。また、地域総合型スポーツクラブ準備会が設置され、スポーツ課と共にクラブ設立への支援を行った。
○社会教育事業は、地域団体との共催的取り組みや、地域の自然を活用した取り組み地域の人材を活用したパソコン初心者講座などを企画し、多くの参加者を得た。
○窓口業務については、多種多様な制度の修得に努め、速やかな事務処理や相談対応、アドバイスを遂行できた。また、応急対応の必要な土木工事案件等について、所管部局との速やかな連絡・調整を行った。

**平成18年度見通し**

○引き続き地域住民主体のまちづくり構想の策定活動を推進し、また防災活動を活性化する。
○地域総合型スポーツクラブの設立と運営を支援する。
○社会教育・生涯教育は多様な内容で企画する。
○窓口業務や地域からの応急対応要望について、速やかな対応を行う。

### これからの課題、施策等展開の方向性

○益々高齢社会、少子社会が進行する中で、自治会や社会福祉協議会等がその情勢、状況に対応した活動を、より多くの住民参加のもとで展開できるかが課題である。
○生涯教育や社会教育事業についても、より多くの住民が参加し、豊かな日常生活の一助になるようニーズを把握し多様な内容で行う必要がある。
○これらに対応するため、様々な情報を得ながら、地域活動に生かせるよう、地域マネージャーの力も活用して、地域団体を支援し、またセンター事業を推進する。
○窓口を初め業務の公正、正確、親切また効率性を意識した遂行を行う。